平成29年1月23日

各　位

会 社 名　株式会社ホテル、ニューグランド
代表者名　代表取締役社長　濱田　賢治
（ＪＡＳＤＡＱコード　9720）
問合せ先　常 務 取 締 役　里見　辰彦
電話番号　045－681－1841

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2017年度～2019年度（平成29年度～平成31年度）を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

１．基本方針

・スローガン

・「受け継ぐ先人の思い。歴史の美学。」

・ミッション

・明治の文明開化以来、西洋のホテル文化を日本において導入してきた先人たちの足跡を伝える横浜のクラシックホテルとして、歴史と伝統を継承しながら、地域の発展に貢献する。

・ビジョン（経営の基本方針）

・日本におけるクラシックホテル文化の歴史と伝統の継承（歴史的建造物、クラシック料理など）。

・開港都市横浜の迎賓館として、地域の発展に貢献。

・クラシックホテル各社と連携して、日本のクラシックホテル文化を内外に広める。

２．基本戦略

・日本におけるクラシックホテル文化の歴史と伝統の継承

・50年後、100年後を見据えた施設造りを引き続き推進（本館大規模改修+耐震改修済証取得、新館改修工事）。

・ホテルニューグランドファンの新規開拓強化（神奈川県以外からの来訪促進やインバウンド施策を始動）。

・ニューグランド伝統の味のスペシャルメニュー化や外販商品強化。

・開業90周年（2017年12月1日）企画の推進。

・開港都市横浜の迎賓館として、地域の発展に貢献

・山下公園通り会、横浜セントラルタウンフェスティバルの運営など、地域活性化施策への積極的参加。

・クラシックホテル各社と連携して、日本のクラシックホテル文化を内外に広める

・クラシックホテル各社と「クラシックホテルの会（仮称）」を結成、勉強会、社員の相互交流、共同宣伝などを企画。

３．数値目標

	第 140 期 平成 29 年 11 月期 (予想)	第 141 期 平成 30 年 11 月期 (計画)	第 142 期 平成 31 年 11 月期 (計画)
売　　上　　高	5,500 百万円	5,360 百万円	5,680 百万円
営　業　利　益	22 百万円	△33 百万円	141 百万円
来　館　人　数	64 万人	62 万人	66 万人
インバウンド比率	20%	25%	30%
修正キャッシュ・フロー	400 百万円	590 百万円	730 百万円

※第 141 期は、ホテル施設の改修工事を予定しております。
※「修正キャッシュ・フロー」＝ 営業損益 + 減価償却費 + 修繕費

【修正キャッシュ・フローを数値目標とする理由】
当社の本館建物は建造より 89 年が経過した今でも、創業当時の容姿を変えることなく現在に至っております。本館建物は横浜市より「歴史的建造物」に、経済産業省より「近代化産業遺産」に認定されております。また世界中の独立系の歴史的なホテルが加盟する組織「ヒストリック・ホテルズ・ワールドワイド」が毎年選ぶベスト・ヒストリック・ホテル賞（アジア／パシフィック地域）を 2016 年度に受賞いたしました。
次の 100 年を見据えた中長期的企業価値の向上を目指して、必要とされる施設改修を今後も継続していくこととしております。
このため「修正キャッシュ・フロー」という独自の概念を数値目標としております。

以上